

平成 27 年 度 決 算 公 告

札幌市中央区南1条西6丁目20番1号
常口セーフティ少額短期保険株式会社
代表取締役 萩野 克己

平成27年度(平成28年3月31日現在)貸借対照表

常口セーフティ少額短期保険株式会社

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金及び預貯金	419,750	保険契約準備金	94,998
現金	390	支払備金	2,278
預貯金	419,360	責任準備金	92,719
有形固定資産	1,440	代理店借	50,776
建物付属設備	595	再保険借	83,147
その他有形固定資産	844	その他の負債	68,860
無形固定資産	5,037	未払法人税等	10,419
ソフトウェア	5,008	未払費用	1,923
その他	28	預り金	704
代理店貸	-	賞与引当金	1,887
再保険貸	81,112	前受収益	53,927
貸倒引当金	△101		
その他の資産	55,852	負債の部合計	297,782
未収金	31,313	(純資産の部)	
前払費用	22,000	資本金	50,000
預託金	2,539	利益剰余金	281,699
繰延税金資産	16,171	(その他利益剰余金)	(281,699)
供託金	11,000	繰越利益剰余金	281,699
		自己株式	△39,220
		(株主資本合計)	(292,479)
資産の部合計	590,262	純資産の部合計	292,479
		負債・純資産の部合計	590,262

平成27年度

平成27年4月1日から

平成28年3月31日まで

損益計算書

常口セーフティ少額短期保険株式会社

(単位:千円)

科 目	金 額
経常収益	1,450,549
保険料等収入	1,448,269
保険料	773,272
再保険収入	674,997
回収再保険金	163,708
再保険手数料	463,890
再保険返戻金	47,397
責任準備金等戻入額	449
責任準備金戻入額	-
支払備金戻入額	449
その他経常収益	1,830
経常費用	1,377,054
保険金等支払金	956,825
保険金	172,324
解約返戻金	49,892
再保険料	734,608
責任準備金等繰入額	277
責任準備金繰入額	277
支払備金繰入額	-
事業費	419,952
営業費及び一般管理費	414,138
税金	4,121
減価償却費	2,550
賞与引当金繰入額	△857
その他経常費用	-
経常利益	73,494
税引前当期純利益	73,494
法人税及び住民税	20,832
法人税等調整額	719
当期純利益	51,942

【貸借対照表の注記事項】

- 有形固定資産の減価償却は定率法、無形固定資産の減価償却は定額法を採用しております。
なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間(5年)に基づいて償却しております。
- 貸倒引当金は債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について税法の法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しております。
- 賞与引当金は、役員賞与および従業員の賞与に充てるため、支給見込額を基準として計上しております。
- 消費税等の会計処理方法は税込み方式を採用しております。
- リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、契約金額が300万円未満のため、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
- 有形固定資産の減価償却額累計額は 11,139千円です。
- 繰延税金資産の総額は 16,171千円で、その内訳は普通責任準備金として15,222千円および賞与引当金等によるものであります。
なお、平成28年3月29日に平成28年度税制改正法が成立して、平成29年3月期の決算以降から法人税等の引下げが行われることになりました。
これに伴い、繰延税金資産の計算に使用する法定実効税率は従来の28%から27%になります。
この税率変更により法人税等調整額は598千円増加し、繰延税金資産は同額減少しております。

- 支払備金の内訳は、次のとおりであります。

支払備金(出再支払備金控除前)	45,571千円
同上にかかる出再支払備金	43,292千円
差引	2,278千円

- 責任準備金の内訳は、次のとおりであります。

普通責任準備金	84,205千円
異常危険準備金	8,514千円
合計	92,719千円

- 貸借対照表に計上した固定資産のほか、事務機器の一部については、所有権移転外ファイナンスリースにより使用しております。

11. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定しております。

代理店貸等にかかる信用リスクについては適切に管理しリスク軽減を図っております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

(単位:千円)

	貸借対照表計上額	時 価	差 額
現金および預金	419,750	419,750	—
代理店貸	—	—	—
再保険貸	81,112	81,112	—
代理店借	(50,776)	(50,776)	—
再保険借	(83,147)	(83,147)	—

①負債に計上されるものについては、()で示しております。

②これらの金融商品はいずれも短期で決済されるため、時価は簿価にほぼ等しいことから当該帳簿価格によっております。

- 1株あたりの純資産額は 1,124,922円12銭です。

算定上の基礎である純資産の部の合計額及び普通株式に係る当期末の純資産額は 292,479千円、1株当たり純資産額の算定に用いた当期末の普通株式の数は 260株であります。

- 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

【損益計算書の注記事項】

1. 正味収入保険料の内訳は以下のとおりであります。

保険料	773,272千円
再保険返戻金	47,397千円
小計(イ)	820,669千円
再保険料	734,608千円
解約返戻金等	49,892千円
小計(ロ)	784,500千円
差引(イーロ)	36,168千円

2. 正味支払保険金の内訳は以下のとおりであります。

保険金等	172,324千円
回収再保険金	163,708千円
差引	8,616千円

3. 支払備金繰入額(△は支払備金戻入額)の内訳は、以下のとおりであります。

支払備金繰入額(出再支払備金控除前)	△8,996千円
同上にかかる出再支払備金繰入額	△8,546千円
差引	△449千円

4. 責任準備金繰入額の内訳は、以下のとおりであります。

当年度普通責任準備金(イ)	84,205千円
前年度普通責任準備金(ロ)	84,893千円
異常危険準備金繰入額(ハ)	965千円
差引(イ)-(ロ)+(ハ)	277千円

5. 1株あたりの当期純利益は199,780円58銭です。

1株あたりの当期純利益の算出には、期中平均発行済株式数(1,000株)から期中平均自己株式数(740株)を控除した260株で算出しています。

6. 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。